



秋保温泉から秋保大滝に向かって街道を進むと、左手に目印となる信仰の山「羽山」の後ろに、頂上が少し不自然に平らになっている山が見えてくる。ここは中世秋保郷に発祥したとされる平家の落人の子孫、秋保氏が治めた山城で、「楯山城」と称します。

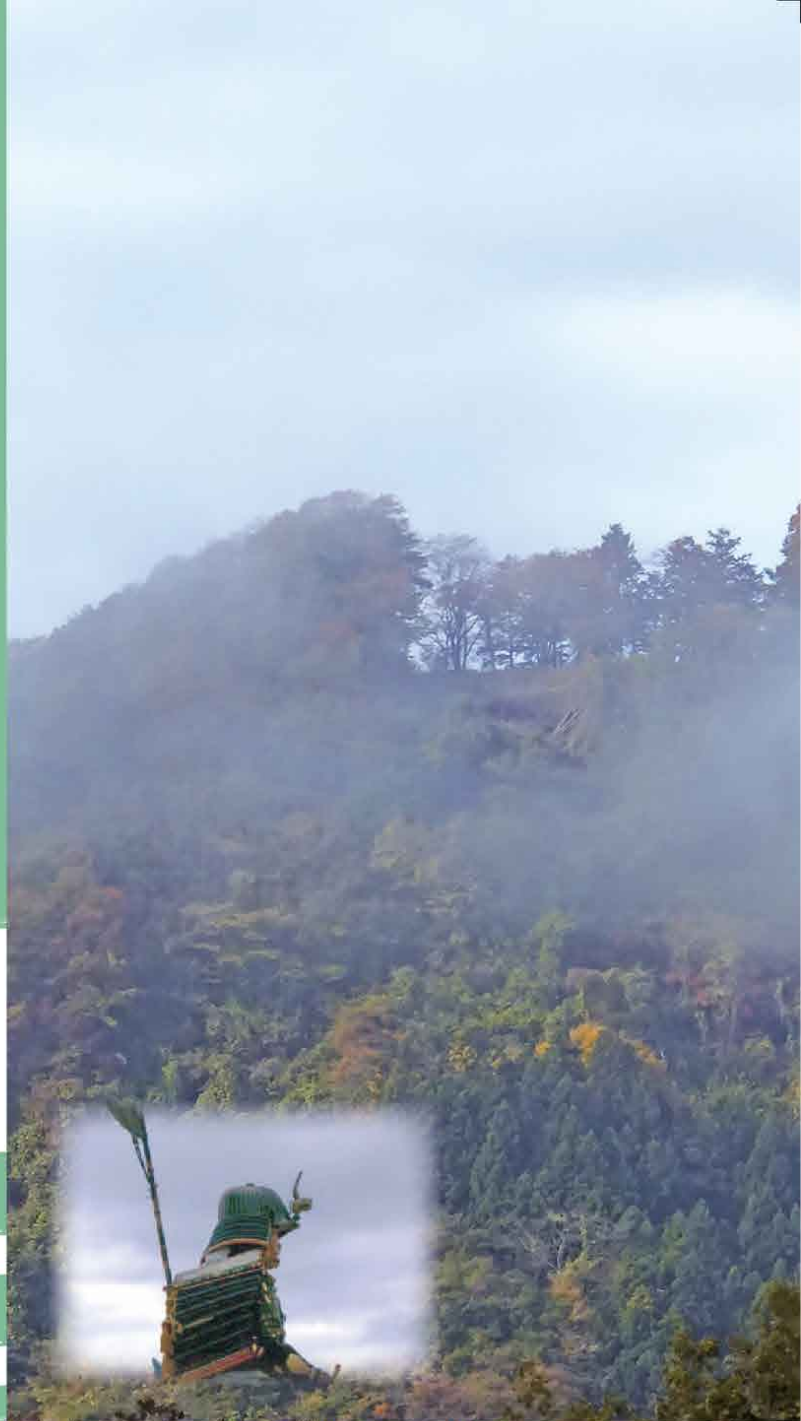
敵との戦いに備え土塁を築き、見晴らしの良い頂上を整地したその山は、山そのものが城として、秋保の心のシンボルとなってきました。

秋保の歴史の中心地、長袋から長館跡、館山原、そして秋保を治めた山城、楯山への登城。かつては強者どもが闊歩した舞台も、今は静かに時を刻んでいます。

草に覆われた天空の城に立ち、秋保の奥深さをたどってみませんか。



天空の城跡「楯山」



いってみっぺ 秋保 天空の城跡「楯山」

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市
連絡先：秋保総合支所総務課 (022-399-2111)
秋保市民センター (022-399-2316)

秋保の歴史の奥深さを
たどり、ふみしめ、体感する
長袋から長館跡、そして楯山城への旅

掲載されている情報は、平成28年5月現在のものです。

訪れてみたい秋保
二口街道ツアー 62

No.6



平安時代、栄華を極めた平氏が壇ノ浦に敗れ、平清盛の嫡男である平重盛の子孫の一行が幾多の苦難を経て秋保郷に定着、秋保氏の祖となったと伝えられています。

やがて秋保郷全体を治めた秋保氏は、楯山に支配の拠点としての山城を築き、その裾野の館山原に居を構えましたが、後に二口街道と楯山城の中間、名取川と瀬沢に囲まれた袋状の台地に長館を整備して居城とし、秋保氏から分家した馬場秋保氏、境野氏などとともに支配を強化していきました。

その後伊達政宗公の仙台開府とともに秋保氏一族は所替えとなって秋保郷から離れ、城も廃館となりましたが、半世紀ほどで再び秋保郷居住を許され、その後伊達藩の重臣を勤めるに至り、長館に屋敷と家中集落「館」を構えて、秋保郷を統括し、明治に至っています。

長袋から館山原にかけては、「長館跡」と「楯山城址」を核とした、秋保氏の歴史の中心地として、落ち着いた景観の中に深い歴史の重みを感じさせてくれる魅力があります。

1 神明神社

藩政時代後半、二口街道の主要な宿駅として栄えた長袋町集落の鎮守として整備されました。当時盛んだったお伊勢参りに町集落からも出かけて財産をなくす者も多く、お伊勢参りに代わるものとして伊勢神宮縁の神明神社を勧請し、それを祀ったと伝えられています。



2 十三仏の碑

天明の大飢饉の際、飢えをしのごうと流浪してきた人々が、対岸の竹ノ内方面から名取川を越えて断崖の急坂を登った所で息絶え、その供養のために建立されたと言われています。秋保郷の飢饉の時代を物語る石碑群です。



3 浜坂・楯山遠望

四季折々に名取川越しに楯山の勇壮な風景が広がるビューポイント。天気よければ、蔵王山も遠望することができます。戦国時代、奇襲を受けた秋保氏は、楯山城での籠城戦を展開したと云われ、そのさなか、飲み水の豊富さを誇張するため、食料たる米を頂から滝のごとく流したという逸話を伝えています。どのあたりだったのか、そう思いながら山を見ると興味はつきません。



長館跡・楯山城跡の図



7 楯山・楯山城跡



秋保氏が、秋保郷統治の拠点として整備した城館で、戦国時代末期まで使用されました。戦乱期、他勢力に一時城を奪われることもありましたが、領民の絶大な支持と協力を受け、見事奪還した誇らしい伝承があります。

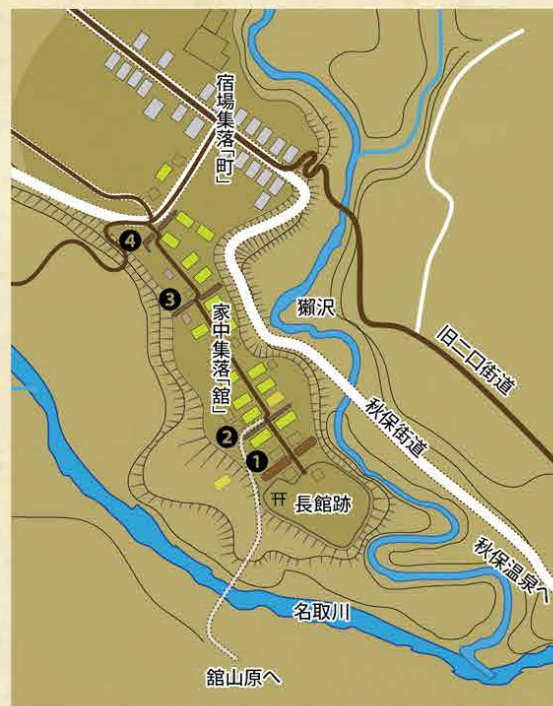
登山口は、ガラス工房「海馬」の駐車場の脇にあり、急坂をゆっくり登ると、約30分で平らに開けた草地に出ます。秋保郷のほぼ全域を見渡すことができます。

標高334メートルの山上に広がる平場とその周囲を囲む土塁や堀形は、戦国時代の緊張した山城の空気を今に伝えてくれます。

4 家中集落「館」と長館跡

秋保氏が館山原(楯山城)から居宅を移して整備したと伝えられる長館は、入り口から最東端の秋保氏屋敷まで4か所にわたり大きな土塁(①②③④)を築き、外敵の侵入に備えたと言われています。土塁の頂部の幅は最も大きなもので10mあり、現在でも確認できます。

秋保氏の屋敷は、今は残っていませんが、氏神として祀られた稲荷神社と、その背後に太い枝を伸ばす樹齢500年といわれる大いちょうが、秋保の歴史を見守ってきました。近くの大ヒヨクヒバとともに市の保存樹木に指定されています。



5 六角地蔵



中世より、武士たちが闊歩した楯山城跡の麓にある楯山原の一角にあります。

全体は六角形で、風化が進んでいますが、一面ずつお地蔵様が彫られており、武士の霊を鎮めるために建立されたといわれています。

6 秋保氏墓所



仙台藩開府に伴い郷所替えとなった秋保氏が、刈田郡小村崎村から再び秋保へ戻った居館が館山原の「御屋敷場」と云われ、その西に復帰後の歴代当主たちの墓碑が並んでいます。

「館」集落の墓地在併設され、家中一族の歴史を感じることができます。

8 グリーンフィールド えむ

広大な敷地に芝生のフリースペースが広がり、花壇やブルーベリー畑、緑の屋根と白いサイディングのかわいい店があります。

店内には手作りのドライフラワーアレンジメントや輸入雑貨が並び、コーヒーやハーブティーで休憩することもできます。

入り口手前には、楯山ギャラリーと陶房とよこがあり、覗いてみるのも楽しいエリアです。(開店日、開館日、時間要確認)。

